



メタ・アナリシス入門
— Rによるメタ・アナリシスの実践 —

*Introduction to Meta-Analysis
with Practical using R*

講師： 山岡和枝（帝京大学公衆衛生大学院）
丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日時： 平成25年3月8日（金） PM1：15～PM4：45

場所： 汐留イタリア街東京茶業会館 8F 東茶協ホール

テキスト： 丹後俊郎著「メタ・アナリシス入門」朝倉書店、2002.

※ 当日、テキスト購入を希望される方は事前登録が必要です。4,200円（税込）

対象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費： 参加申し込み区分：A：大学院生5千円（大学院生を本務とされている方）、
B：アカデミック1万円（病院・研究機関など含む）、C：ノン・アカデミック2万円

定員： 50名（定員に達しだい受付締切）

セミナーの内容：

EBMに基づいた医療の実践において、メタ・アナリシスは2つの意味で重要です。1つは新たな臨床研究を行う前に効果の指標（effect size）の決定やサンプルサイズの設定のための情報を得ることを目的とした分析であり、臨床試験のプロトコルを作成する前に実践するものです。2つめはエビデンスを高めることを目的として、情報の集約を行うものです。いずれの場合にも、システムティック・レビューとメタ・アナリシスを行い、類似の臨床研究データを収集し、あるパラメータに関して統計的に解析するものですが、どちらかという後者では幅広く、質の高い分析が求められます。

本セミナーでは、比較的初心者の方を対象として、主に以下の内容について解説し、基本的なメタ・アナリシスの手法について理解し、分析をRを使って行い、報告できるようになることを目指します。

- ・システムティック・レビューとメタ・アナリシスとは何か
- ・PubMed検索式を用いたシステムティック・レビューの実践
- ・基本的なメタ・アナリシスのモデル：母数効果モデル、変量効果モデル、ベイズモデル
- ・フォレストプロットとファネルプロット
- ・PRISMAとメタ・アナリシスの論文の書き方
- ・PubMedとRを用いた実践

会場で実習も試みたい受講者は、PC（電源はありませんので、バッテリーは十分に）を持参していただくとともに、次のソフトRを事前にダウンロードしておいて下さい。

R：<http://www.r-project.org/>



エレガントな汐留イタリア街で行われる最先端のセミナーに出席しませんか？

Coffee Break では素敵な音楽と Coffee & Sweets が楽しめます



アクセス：


東京都港区東新橋 2-8-5 汐留イタリア街東京茶業会館 8 F 東茶協ホール



JR「浜松町」駅「新橋」駅・地下鉄大江戸線、ゆりかもめ「汐留」駅より徒歩7分
地下鉄三田線「御成門」駅より徒歩7分・地下鉄浅草線・大江戸線「大門」駅より徒歩8分

セミナー参加申込方法：

参加希望の方は、配布資料の準備もごございますので、**2/28** (Thu) までに、できる限り、
事前登録をお願い致します。

参加申し込みは  e-mail にて承ります。参加費は当日お支払い下さい。※領収書お渡します。

宛先： secretary@medstat.jp

件名： 第6回セミナー参加申込

本文： 1. ご氏名 2. ご所属 3. 参加申し込み区分
4. テキスト購入希望の有無

※セミナーのお申し込みをいただいてからお申込者様のご都合でキャンセルされる場合、キャンセル料を申し受けますので、ご注意ください。セミナー開催8日前（開催当日を含まず）まで不要、以降、7日前-前々日のキャンセル：参加費の半分、前日、当日のキャンセル：全額

医学統計学研究センターは東日本大震災の被災者の方々を支援するため、参加費の一部を義援金として寄付し、日本赤十字社を通じて被災者の方々の支援活動を応援致します